

深径覚の検査-三杆法:三柱深径覚計 例)コーワ AS-7JS1

準備物 **三柱深径覚計**



深径覚とは融像して立体感を得るものではなく遠近感を見るものと考えればよい。

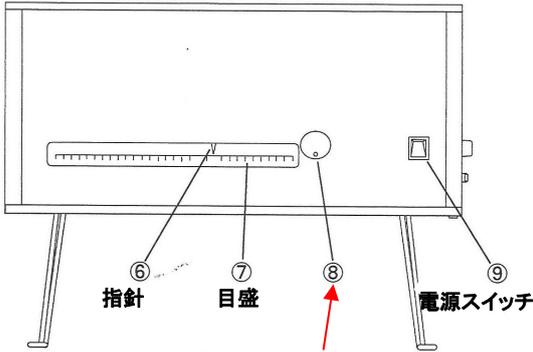
図)説明書より抜粋

例)コーワ AS-7JS1



本体側面にある目盛り 0 の位置までの距離が 2.5m となるように顎載せを設置する

本体⑨電源スイッチとコントロールボックス電源スイッチをONにする



本体をマニュアル操作にし、⑧ノブを引き出すと手動となる。

スイッチにて必要なモードを選択する

①50・25 mm/sec(移動速度)スイッチ
(押すたびにスピードが切替わり選択されている方が点灯する)

②連続・間欠スイッチ(押すたびに連続・間欠が切替わり選択されている方が点灯する。連続になっている時はリモコン又はコントロールボックスのストップスイッチを押している時のみ停止し後は自動的に前後進する。スイッチを離してから2秒間、カウンター数字は停止し、この時にリモコン又はストップスイッチを再度押しても停止しない)

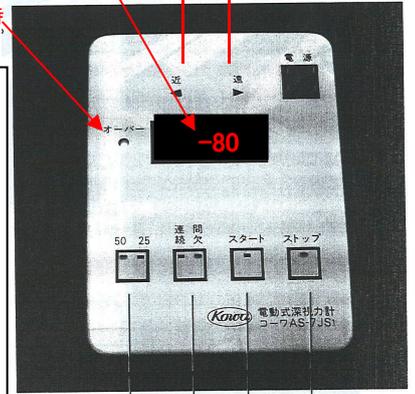
③スタート④ストップスイッチ(②が間欠になっている場合にリモコン又はストップスイッチで停止し、③スタートスイッチで移動する)

目的
・日常視における遠近感(生理的複視)の有無の確認
・第2種営業用及び大型車の運転免許取得の(深視力)の検査

コントロールボックス

数字の±は0の位置より離れる側を+、近づくと表示しているか遠ざかっているかの表示

移動杆が前後80mm以上ずれた時点灯



① ② ③ ④

被検者に、三杆のうち中央の杆だけが前後に移動するので、三杆が横一列に並んだと思ったら、すばやくリモコンスイッチを押すように指示する

連続で3回測定する

結果・記載例)

三杆法
1. +15mm
2. +17mm
3. +16mm
平均 +16mm

実際は±は関係なく、0からの誤差の平均を出す。

判定基準)

正常: 3回の平均値が±20mm以内
不良: 答えがばらつく

判定例)

正常範囲内



自分の結果を書いておこう!

